



レノファと共に！オール山口 Jリーグで地方創生、まちづくり 周防大島町もレノファ山口のホームタウンに加わりました



▲周防大島町のPR大使となった大石治寿選手②⑦（右）と吉満大介選手④



サッカーJ2レノファ山口とオンライングループおよびホームタウン自治体（山口県および県内全19市町）とのパートナーシップ包括連携協定の締結式が、5月13日、山口市にある維新百年記念公園陸上競技場において行われました。これはレノファ山口が進めていた山口全県のホームタウン化が、3月21日のJリーグ理事会で正式に承認されたことを受け行われたもので、式にはJリーグの村井満チエアマンや村岡嗣政山口県知事をはじめ、各市町の代表者らが出席し、京都との試合前のセレモニーで協定の締結が披露目されました。協定は、全県で一つになって、まち・ひと・しごと創生にかかわる様々な分野で緊密に連携・協力していくというもので、スポーツの枠を超えて、地方創生・まちづくりに取り組んでいきます。また、PR大使を務めるご当地所属選手として周防大島町にはFWの大石治寿選手とGKの吉満大介選手の両選手になることが発表されました。



7月1日(土) 松本山雅戦

18:00 キックオフ
維新百年記念公園陸上競技場

J2初の「観客動員プロジェクト」

明治150年まで、あと半年=明治149.5年

14950人プロジェクト

ご当地じまん企画

山口県内の全19市町が維新公園に集結しプロジェクトを盛り上げます。

今年の4月22日、和田にある筏八幡宮で初めてアースデイのイベントが開催されました。アースデイというのは地球環境のことを考えて行動する日で、1970年アメリカのG・ネルソン上院議員により誕生し、この時期になると世界各地で自由なイベントが行われます。例えば東京では環境活動家のトークステージやミュージシャンのライブ、地産地消にこだわった飲食店の出店等があり、毎年大盛況のイベントです。

アースデイ周防大島の実行委員は農家の小林大亮さんと元地域おこし協力隊の三浦宏之さんのお二人。おそらくどこよりも小さなアースデイイベントです。当日は筏八幡宮の星野葉子宮司による御祈祷から始まり、歌やフラの披露、また参道には島の農産物や猪汁、島の小麦を使ったパン、雑貨、島外からも原材料にこだわったお菓子やお弁当等のお店

地域おこし協力隊員 山崎千寿の しましまタイムズ

SHIMASHIMA TIMES

17

周防大島町定住促進協議会
☎0820(74)1007



▲参道には19の出店ブースが並びました

が賑やかに並びました。心地よく降り注ぐ日差しの下、お客さんは境内にシートを敷いて音楽を聴きながらお弁当を食べたり、出店者の方とおしゃべりをしたり、海岸を散歩したり・・・ゆったりとした心地よい時間が流れ、飾らない周防大島らしいアースデイ、来年も開催されることを切に願います。

次回の海掃除は7月16日(日)午前8時から、三浦の中村漁港および海浜で西三浦地区の漁業関係者のみなさんと合同で行います。こちらは7月の毎週日曜に全県で実施する「やまぐちボランティア・チャレンジデー」の一環としてのイベントにもなっています。

【P7ちよび塩クイズ答え】

収縮期血圧130mmHg未満、拡張期血圧85mmHg未満が「正常血圧」です。
収縮期血圧140mmHg以上、拡張期血圧90mmHg以上になると「高血圧」です。